

# あいち農産物生産流通レポート

平成29年9月号

	ページ
◎ 情報サロン	
・ 愛知県において全国加工用トマト生産振興協議会を開催しました	(園芸農産課) 1
・ 「平成29年度あいち食育いきいきシンポジウム」を開催しました	(食育消費流通課) 2
◎ 地域トピックス	
・ 県内トップを切って新米出荷！ あいち米初出荷式が開催されました！	(海部農林水産事務所) 4
◎ 東日本情報	
・ 首都圏におけるジビエ活用の動き	(東京事務所) 5
◎ フラワーページ	
・ 発展途上国を支援するためのバラ「マリルージュ」	(東京事務所) 7
◎ 青果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	9
・ 名古屋・東京市場における青果物の9月の見通し	10
◎ 花き	
・ 切り花・鉢花の9月の見通し(県内市場)	22

※ 今月、「西日本情報」はありません。

内容についての問合せ先

愛知県農林水産部食育消費流通課 (052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ (03)-5492-5400

平成29年4月号から、「全国における主要農産物の輸出入実績」、「関連指数」のページはなくなりました。それぞれの情報につきましては、

【輸出入実績】  
農林水産省ホームページ内「農林水産物輸出入統計」  
<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kokusai/index.html>

【消費者物価指数】  
全 国：総務省統計局ホームページ内「消費者物価指数月報」  
<http://www.stat.go.jp/data/cpi/>  
名古屋：愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」  
<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/toukei/bukka.html>

【農作物価指数】  
農林水産省大臣官房統計部「農作物価統計調査」  
<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noubukka/>

【名古屋市小売価格】  
総務省統計局「小売物価統計調査」  
[http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?\\_toGL08020101\\_](http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?_toGL08020101_)

を御覧ください。



## 愛知県において全国加工用トマト生産振興協議会を開催しました

園芸農産課

### 1 愛知県での加工用トマトの栽培について

トマトには、そのまま食べるための「生食用トマト」のほか、トマトジュースなどに加工される目的で栽培される「加工用トマト」があります。

生食用トマトが温室で支柱を立てて作られるのに対し、加工用トマトは露地で茎が地を這うように栽培されるのが一般的で、4月頃に定植し、7月から8月の盛夏に集中して収穫されます。本県では豊橋市などで約7ha 栽培されており、「県内産トマト使用」を付加価値とする加工メーカーと契約し、出荷されています。

日常の栽培管理は比較的簡単であり手がかからない作物ですが、暑い中での収穫作業が重労働で、面積の拡大は進んでいません。

愛知県では、加工用トマトの生産振興のため、JAあいち経済連、加工メーカー2社と県の4者で生産振興協議会を組織しています。課題を共有し解決方法を模索するとともに、生産者、加工メーカー及び消費者が一堂に会するイベントを年1回実施し、加工用トマトのPRにも努めています。

### 2 全国加工用生産振興協議会の開催

加工用トマトを生産している全国10県（岩手、山形、福島、茨城、栃木、群馬、山梨、長野、新潟、愛知）で生産振興協議会を組織し、年1回、総会を兼ねて現地研修会を輪番で開催しています。

本年度は愛知県が当番県で、7月18日(火)に総会及び意見交換会、19日(水)に現地研修会を開催し、協議会会員である10県の行政機関、経済連などに加えて、農林水産省、トマト加工メーカーなど約50名が参加しました。

意見交換会では、愛知県生産振興協議会で取り組んでいる、早期定植による収穫期の前倒し、接ぎ木苗や資材の利用に関する試験の途中経過について、JAあいち経済連が発表しました。また、一斉機械収穫のために熟期の斉一性を高めた品種や収穫機本体についての話題などの情報交換が行われました。

現地研修会では、大府市及び稲沢市の契約栽培ほ場を訪問し、短支柱を用いて株元に空間を作って風通しをよくする仕立て方法や、農福連携の取り組みなどを視察しました。

東北や甲信越を中心とした参加者たちは、汗を流しながら南限の加工用トマト産地である愛知県の栽培状況を視察して、自県とは異なった栽培方法から新たなアイデアを得るために、活発な意見交換がされました。

愛知県としても、今回の協議会の成果を、今後の加工用トマトの生産振興に活かしていきます。



加工メーカーによる説明を聞く参加者(大府市)

## 「平成 29 年度あいち食育いきいきシンポジウム」を開催しました －愛知県の食文化を次世代に伝えるために－

食育消費流通課

平成 25 年 12 月に、「和食；日本人の伝統的な食文化」がユネスコの無形文化遺産に登録され、和食の基本となる各地域における伝統的な食文化の保護・継承の重要性が高まっています。

愛知県が平成 28 年 3 月に作成した「あいち食育いきいきプラン 2020」においても、日本の食文化や郷土料理等の理解と継承に取り組むこととしており、平成 29 年 2 月には、郷土料理のいわれや歴史等を紹介した『あいちの郷土料理レシピ 50 選』（以下『レシピ 50 選』という。）を作成しました。

この度『レシピ 50 選』を活用して、郷土料理を中心とした地域の食文化の理解を促し、次世代への継承について考える「平成 29 年度あいち食育いきいきシンポジウム」を開催しました。

### 1 平成 29 年度あいち食育いきいきシンポジウムの開催概要

平成 29 年 8 月 3 日（木）に、愛知県西三河総合庁舎において「平成 29 年度あいち食育いきいきシンポジウム－愛知県の食文化を次世代へ伝えるために－」を開催しました。

シンポジウムには、県民を始め関係者 200 名以上の方に御参加いただき、『レシピ 50 選』の製作者による基調講演やパネルディスカッション、食育活動表彰者による優良活動事例紹介が行われました。

### 2 基調講演「愛知県の郷土料理の魅力について」

まず、名古屋文化短期大学教授の鳥居久雄氏に、『レシピ 50 選』作成の裏話や、県の郷土料理及び食材、調味料の特長について、基調講演をしていただきました。

鳥居氏は、愛知県の食文化に精通した学識経験者及び料理研究家などの専門家 4 名を中心に構成された「あいち郷土料理検討委員会」の委員として全体総括を担当され、『レシピ 50 選』作成に携わった経過を紹介されました。

『レシピ 50 選』は、郷土料理の伝承者のアンケート結果を基に、委員会で 50 種のレシピを選定したことや、郷土料理は同じ料理名でも地域や家庭によって材料や作り方に少しずつ異なり、それが「わが地域」「わが家」の味となり、代々受け継がれてきたなどの話がありました。



基調講演の様子



## 2 パネルディスカッション「地域で伝える郷土料理等の食文化」

次に、鳥居氏をコーディネーターとして、パネルディスカッションが行われました。パネリストには、食文化の継承活動を行っている県食育推進ボランティアの荻野紀子氏、岡崎市健康増進課係長の二村和孝氏、刈谷市立住吉小学校栄養教諭の山本勝彦氏、『レシピ 50 選』作成のレシピ取材などに御協力いただいた名古屋文化短期大学 2 年生の茶谷英里氏、の 4 名が参加されました。

調理師を目指す茶谷氏からは、「『レシピ 50 選』の取材を通して）郷土料理は家族の絆を深め、子どもの心に生涯残ることがよく分かった。」との発言があり、それぞれの立場の食文化継承の取組、工夫や課題が紹介され、会場の参加者からの発言もいただきました。



パネルディスカッションの様子

## 3 優良活動事例紹介「地域ぐるみで豊かな心を育む食育活動」

最後に、平成 29 年度第 1 回食育活動表彰の教育関係者・事業者部門で農林水産大臣賞を受賞した西三河農業協同組合を代表し、同組合営農部営農企画課係長の岩瀬秀教氏から、西尾市内の小学校 18 校における米作り体験学習などの取組を紹介していただきました。

## 4 全体を通して

参加者からは、「郷土料理の話は興味深く、団体の研修会でも講演してほしい。」「今度の食育活動の参考になった。」という意見が聞かれました。

今回のシンポジウムをきっかけとして、それぞれの地域、学校、家庭において郷土料理を中心とした地域の食文化が次世代へ伝えられていくことを期待します。

※『レシピ 50 選』は、愛知県のウェブサイト「食育ネットあいち」で紹介していますので、ダウンロードして御活用ください。



『レシピ 50 選』の表紙

URL : <http://www.pref.aichi.jp/shokuiku/shokuikunet/what/local.html>

## 県内トップを切って新米出荷！ あいち米初出荷式が開催されました！

海部農林水産事務所

愛知県では、8月上旬から10月にかけて「あいちの新米」の収穫が続きます。早場米の産地である弥富市鍋田では、平成29年8月10日（木）に県内トップを切って今年の新米が出荷されました。

### 1 平成29年産あいち米初出荷式

J Aあいち海部鍋田支店集出荷場で、J Aあいち海部、J Aあいち経済連の主催により、あいち米の初出荷式が開催されました。初出荷式には、管内の出荷関係者のほか、安藤正明県議、高橋農林水産部長などの県関係者も臨席しました。

一日検査員を委嘱されたミス弥富による出荷米の検査、出席者によるテープカットなどのセレモニーが行われた後、「あきたこまち」1,503袋（1袋30kg）を積んだトラックが集出荷場から出発しました。出荷された米はすべて1等米で、翌日11日からAコープを始めとした県内スーパーで販売されます。

J Aあいち海部鍋田支店管内では、約500haの作付面積のうち早場米の「あきたこまち」と「コシヒカリ」が9割近くを占め、「あきたこまち」を皮切りに新米の収穫が始まります。本年産の「あきたこまち」は、収量は平年並とみられ、品質はやや小粒であるものの良好でした。



初出荷式でのテープカット

### 2 消費者交流会

式典後の会場では、地元消費者や生協組合員などを招いた消費者交流会が開催されました。

化学合成農薬の使用回数の低減など安全・安心な生産に取り組み、「安心あいち米」として売り出している県産米を味わってもらおうと、夏休み中の子供達や消費者に新米のおにぎりが振る舞われました。また、県が育成した小麦「きぬあかり」を製麺したきしめんも提供され、参加者に喜ばれました。



消費者交流会の様子

## 首都圏におけるジビエ活用の動き

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

近年、野生鳥獣肉を指す「ジビエ」が注目を集めており、愛知県でも県産ジビエの消費拡大に向けた取組が行われています。

首都圏においてもジビエを専門に扱うレストランだけではなく、大学生による地域振興の一環としてのジビエ肉流通促進の取組や、ハンバーガーチェーンでの鹿肉メニューの提供など、徐々にではありますが、ジビエが浸透しています。

ジビエはフランスを始めとしたヨーロッパで発展した食文化ですが、国内では2020年の東京オリンピックなどによる訪日外国人の増加も見込まれます。こうした動きは首都圏におけるジビエの消費拡大の機会となるかもしれません。

今回は、そのような首都圏でのジビエ活用に向けた取組事例を紹介します。

## 1 九州ほんものマイスター

九州ほんものマイスターは、東京農業大学の学生が中心となり設立した団体で、代表の三浦大輝氏は同大学の3年生です。高校卒業後に1年間、九州を放浪し農家に住み込みで働いた経験がきっかけとなり、昨年7月に当団体を設立しました。九州のこだわり農産物の企画販売や、鳥獣被害解決のためのジビエ振興事業等に取り組んでいます。

8月5日、ちよだプラットフォームスクエア(東京都千代田区)において、戦略経営研究会(異なる専門性を持つ有志が様々な観点から議論・活動する会)が開催され、三浦氏らが手がける鹿肉流通の発表が行われました。

鹿児島県屋久島には約3万頭の鹿が生息していると試算されており、毎年5千頭前後が捕獲されています。しかし鹿肉として流通するのは5%程度に留まり、施設がない、販売ルートを持たないなどの理由により、残りの95%は埋設処理により廃棄されるのが実情です。

東京を中心に強い情報発信力を武器に活動する同団体ですが、8月より2名が大学を休学して島に移住し、鹿の捕獲から血抜き、解体、精肉までを行う予定です。ジビエとしての安定供給と、と殺前の餌のコントロールなどによる食味向上を目的に、敷地があれば一時放牧も検討してみたいとのことでした。



説明を行う三浦代表



計画では、「ヤクシカ(屋久島の鹿)」としてのブランド化を同時に進めるとのことで、安価ではありませんが、数年後にはヤクシカの肉を使った料理を年間を通して味わえるようになるかもしれません。

## 2 ハンバーガーチェーンの鹿肉メニュー

「Becker's」は首都圏のJR東日本の駅ナカを中心に17店舗を展開するハンバーガーチェーンです。JR6社と地元の観光事業者等で共同開催する信州ディステーションキャンペーンに併せ、期間限定で鹿肉バーガーを販売しており、ジビエメニューは今年で7年目でハンバーガーは5年目となります。

鹿肉は赤身が多く淡白で、脂身の旨さを楽しむイノシシ肉などとは異なり、ヘルシーな反面、と殺の手際や調理方法次第で「肉の堅さ」や「パサパサ感」が出やすい肉です。今回はパティに使われていましたが、クセを押さえた少し濃い目の味に仕上げられており、鹿肉のパサパサ感を感じることはありませんでした。

鹿肉バーガーは通常のメニューより高めの設定となっており、単品で720円で販売されています。期間中の全店舗での売上目標は20,000食で、長野県内の複数の加工業者との連携により安定した供給と食味が確保されており、この規模の流通体制が整備され始めていることに驚きました。

今はまだ高価な食材ですが、田舎や特別な店のジビエ料理だけでなく、どこでも食べられる庶民的な食材としてのジビエ肉の可能性にも期待が高まります。



鹿肉バーガーと信州ジビエの紹介ポスター

## 3 鳥獣被害対策の持続とジビエの普及のために

当県における鳥獣被害対策の持続もジビエの普及も、肉の流通を商業ベースにのせることが鍵になると思われます。そのためには、安定した供給体制作り、ジビエ肉の認知度向上、レシピ開発や取扱店舗の拡大といった需要の掘り起こし、が特に重要と考えられます。

当グループでは、これらの取組の参考となる流通事例の収集と情報発信を今後も進めていきたいと思えます。



## 発展途上国を支援するためのバラ「マリルージュ」

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

平成29年7月21日（金）に、大田市場花き棟の大田花き（株）のセリ場で、歌手・女優の夏木マリ氏により、音楽とバラで発展途上国を支援する取組「One of Loveプロジェクト」とバラ「マリルージュ」のPRが行われましたので、概要を紹介します。

### 1 「マリルージュ」とは

夏木マリ氏が中心となって取り組む「One of Loveプロジェクト」は、発展途上国の子供達の教育環境と働く女性達の雇用整備の向上を目指す支援活動であり、「マリルージュ」の販売や音楽活動での収益の一部を活用し、エチオピアの学校への文房具提供やバラ農園でのパソコン購入などの支援を行っています。

「マリルージュ」は、広島県のバラ育種家「今井ナーセリー」と同プロジェクトで協力して開発した赤バラ品種です。現在は山口県の農事組合法人「柳井ダイヤモンドローズ」のみの生産となっていますが、首都圏にも出荷され、都内の生花店でも販売されています。

### 2 大田市場でのプロモーション

大田市場での買参人に向けた同プロジェクトと「マリルージュ」のPRとして、夏木マリ氏によるセリ前あいさつが行われました。

夏木マリ氏は『「マリルージュ」は花びらと色にこだわり、長持ちする元気なバラ。現在は、2万5千本程度の取り扱いに止まっているが、もっと拡大していきたい』と意気込みを述べました。また、「“消費者が生花店で手にした元気なバラが、発展途上国の支援に繋がった”といったストーリーが各地で生まれることを願っている」と今後の抱負を語り、多くの買参人が耳を傾けていました。

この「マリルージュ」の今後の販売拡大においては、発展途上国の支援というコンセプトが、どの程度消費者の共感を集めることができるかがポイントになると考えられます。引き続きその動向に注目したいと思います。



夏木マリ氏によるあいさつ



セリ場で提示された「マリルージュ」



## 愛 知 産 青 果 物 の 動 向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内  
 や や : ± 3 ~ 5 % 台  
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台  
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

### ○ 名古屋市中心卸売市場（品目：いちじく）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)	
		うち愛知産	愛知産		
28年実績	507	506 (100%)	739	739	—
29年見通し	460	—	750	—	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>ほぼ全量を愛知から入荷する。高温で入荷時期が前倒しされた前年に対して、平年に近い入荷状況となっている。日照不足等の天候不順の影響は他品目に比べて小さいが、入荷量は今後の降雨次第と思われる。                      入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並となる見込み。</p>			<p>生産者の高齢化等により生産規模が縮小しており、出荷量の減少が懸念される。                      露地栽培では、降雨の影響を受けやすいなど計画的な出荷が難しい作物であるが、安定した出荷量の確保のため、栽培面積の維持と生産者の確保をお願いしたい。</p>		

### ○ 東京都中央卸売市場（品目：ぎんなん）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)	
		うち愛知産	愛知産		
28年実績	374	162 (43%)	1,239	1,287	茨城 (11%) 静岡 (8%) 埼玉 (7%)
29年見通し	290	—	1,700	—	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知産の入荷は、9月から本格化し、10月にピークを迎える。本年は前年までの豊作の影響を受け着果量が少なく、極端な裏年となる模様。過去数年を通して少ない出荷量となると見込まれる。                      入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>			<p>ぎんなんは秋の味覚として業務筋を中心に人気が高い。品質・選別ともに良好で、今後も継続した取組をお願いしたい。                      9月は高温、多湿の日が多く、カビの発生が懸念される。磨きのムラがカビの発生を助長するため、出荷に際しては選別や品質保持の徹底をお願いしたい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の9月の見通し

名古屋市中央卸売市場

※グラフは白抜き箇所が見通しとなります。

8月17日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	24年	33,747	223	217	238	225	北海道 48%
	25年	35,362	175	175	180	172	長野 19%
	26年	32,269	234	230	240	238	群馬 9%
	27年	35,201	258	249	264	251	青森 5%
	28年	34,546	246	255	253	227	
	5ヵ年平均	34,225	227	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	34,700	207	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
北海道を中心に、長野、群馬などから入荷する。8月の天候不順の影響は、品目差がある。きゅうりやなすなどでは入荷が伸び悩み高値が予想される一方で、にんじんやレタスなどではこれまでの安値が引き続き尾を引く可能性がある。入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。							
だいこん	24年	2,194	86	87	90	89	青森 44%
	25年	1,905	130	126	138	136	北海道 37%
	26年	1,983	124	132	127	118	岐阜 14%
	27年	2,179	112	114	116	113	新潟 4%
	28年	1,704	133	131	136	143	
	5ヵ年平均	1,993	116	117	120	118	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	2,000	110	110	110	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
北海道、青森を中心に入荷する。北海道では6月の多雨と7月の高温により一部で生育不良や小玉傾向が見られるものの、全体的には順調な入荷となる見通し。入荷量は前年を大幅に上回るが概ね前年並で、価格は前年を大幅に下回る見込み。							
にんじん	24年	2,411	104	103	120	92	北海道 97%
	25年	2,377	135	133	133	139	
	26年	2,361	123	128	127	117	
	27年	2,182	159	167	170	146	
	28年	1,263	336	282	388	342	
	5ヵ年平均	2,119	154	150	167	149	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	2,300	105	105	105	105	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
北海道が入荷の中心となる。北海道では8月上中旬の低温で同中旬の入荷量が減少したものの、生育状況は順調。これまで安値推移しているが、給食需要により価格がある程度回復することが期待される。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。							



東京都中央卸売市場

8月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	24年	131,883	194	183	199	202	北海道 29%
	25年	131,101	253	247	268	245	長野 17%
	26年	133,870	271	290	268	256	群馬 13%
	27年	133,468	284	277	297	280	茨城 7%
	28年	131,610	270	261	270	279	青森 7%
	5ヵ年平均	132,386	255	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	132,000	245	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前年、台風の被害を受けた北海道産のばれいしょ類、人参等は平年並に回復。8月の低日照の影響（着花不良等）が懸念される品目もあるが、新たな台風等の到来がなければ、入荷量は前年並となる。 入荷量は前年並となり、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
だいこん	24年	11,091	85	83	85	88	北海道 59%
	25年	11,477	126	116	131	131	青森 36%
	26年	12,945	122	131	120	114	岩手 2%
	27年	13,486	110	111	110	110	群馬 2%
	28年	11,218	134	131	133	136	
	5ヵ年平均	12,043	115	115	116	116	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	11,700	90	90	90	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、青森からの入荷が中心となる。懸念されていた天候不順の出荷量への影響は少ない。一部で生育遅れや品質面での影響が残るが、概ね順調な生育・出荷が見込まれる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る。</p>					
にんじん	24年	6,933	112	106	118	111	北海道 91%
	25年	7,561	133	130	132	136	中国 8%
	26年	8,455	114	116	117	109	青森 1%
	27年	7,847	155	160	163	141	
	28年	6,359	271	223	304	291	
	5ヵ年平均	7,431	153	145	162	153	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	8,100	100	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷がほとんどを占める。昨年、台風被害を受けた産地も回復しており、作柄は平年並となる産地が多い。肥大も良好でM、L中心となる。 入荷量は台風被害で少なかった前年を大幅に上回り、価格は前年、平年とも大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

8月17日現在

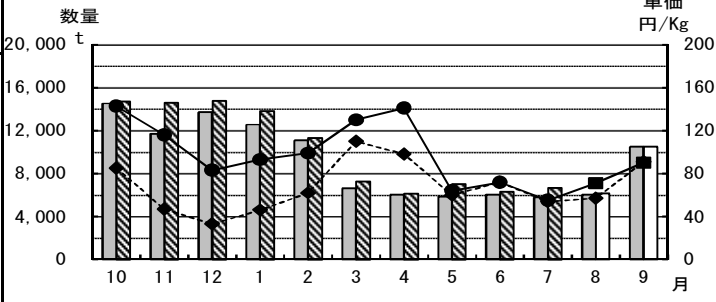
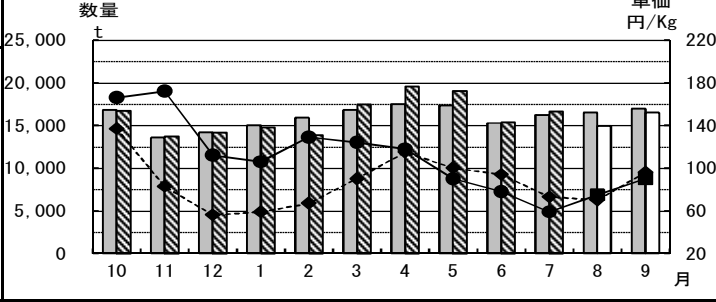
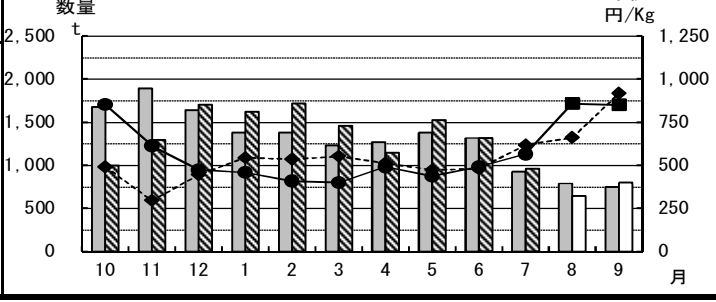
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
はんぱい	24年	2,489	52	54	57	55	長野 99% 北海道 1%
	25年	2,225	98	110	123	84	
	26年	2,061	146	189	131	150	
	27年	2,141	133	131	171	110	
	28年	2,198	91	83	103	94	
	5ヵ年平均	2,223	102	111	115	97	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	2,100	70	60	70	80	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野主体の入荷となり、一部北海道から入荷する。長野はここまで生育順調で7月には例年を上回る入荷があったが、今後は天候不順による入荷減も懸念される。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>				
	キヤベツ	24年	4,873	55	54	59	55
25年		4,221	93	90	95	97	
26年		4,638	132	126	135	145	
27年		4,304	134	117	142	150	
28年		4,472	99	91	109	102	
5ヵ年平均		4,502	102	95	107	109	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
29年見通し		4,400	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬の孺恋を中心に、残りを長野、北海道などから入荷する。群馬や長野では長雨による傷みの発生がやや見られる。9月の入荷量は概ね平年並を予想するが、傷みや小玉化による入荷減の可能性もある。 入荷量は前年並で、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ほうれんそう		24年	192	807	775	826	823
	25年	170	877	876	928	839	
	26年	193	817	996	795	712	
	27年	173	859	845	952	843	
	28年	149	902	980	923	834	
	5ヵ年平均	175	849	892	880	807	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	150	860	860	860	860	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>岐阜の飛騨が入荷の中心となる。例年同様に8月の高温の影響により、9月の入荷量はやや少なくなる見通し。入荷は9月下旬頃から徐々に回復すると思われる。 入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>				

東京都中央卸売市場

8月31日現在

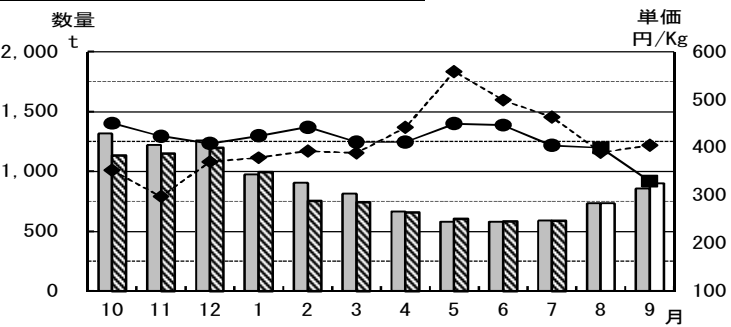
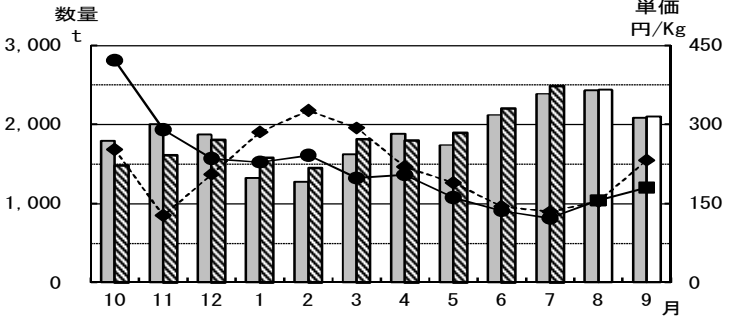
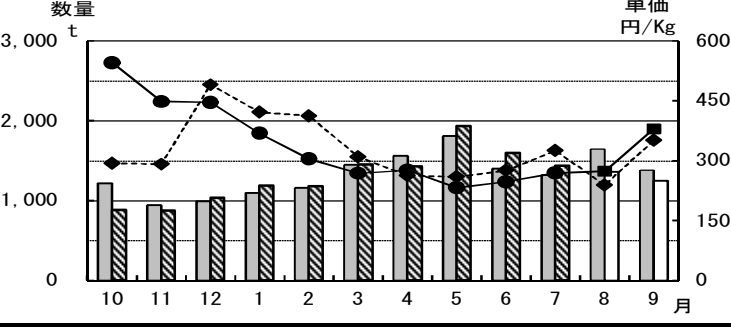
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	24年	7,816	52	48	53	55	長野 94% 群馬 4% 北海道 2%
	25年	9,114	99	103	114	83	
	26年	9,321	146	177	131	135	
	27年	10,601	127	120	155	108	
	28年	10,490	91	76	103	91	
	5ヵ年平均	9,468	105	106	114	96	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	10,500	90	100	90	80	
さい	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>長野を中心に群馬、北海道からの入荷となる。8月の低温により玉肥大が悪く数量が伸び悩んだが、今後は肥大、入荷量ともに回復。消費地の低温により価格伸びるも入荷量の回復に伴い落ち着くと見込まれる。</p> <p>入荷量、価格とも前年並の見込み。</p>						
キャベツ	24年	14,759	52	49	55	52	群馬 79% 岩手 10% 長野 6% 茨城 3% 北海道 1%
	25年	14,560	97	90	100	100	
	26年	15,336	140	131	140	151	
	27年	15,784	142	122	148	155	
	28年	16,932	96	84	106	100	
	5ヵ年平均	15,474	106	96	110	112	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	16,500	90	90	90	90	
ほうれんそう	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>群馬、岩手からの入荷が中心となる。群馬は8月に天候不順の影響を受けているが、9月にはほぼ回復。岩手も低温、日照不足の影響が一段落し安定入荷が見込まれる。</p> <p>入荷量は前年を並で、価格は前年、平年ともに下回る見込み。</p>						
ほうれんそう	24年	860	724	759	714	699	群馬 32% 栃木 22% 茨城 17% 岩手 10% 岐阜 7%
	25年	862	770	787	813	717	
	26年	1,034	728	964	717	597	
	27年	909	846	886	948	747	
	28年	749	917	1,109	833	832	
	5ヵ年平均	883	792	898	802	711	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	800	850	800	950	800	
ほうれんそう	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>群馬など関東高冷地と岩手からの入荷が中心となる。各産地とも作付面積は確保されたが、これまでの日照不足の影響により出荷量は平年を下回る見込み。ただし激減した前年は上回る。</p> <p>入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>						

名古屋市中央卸売市場

8月17日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	24年	932	336	321	350	343	北海道 44%
	25年	894	394	413	407	368	長野 13%
	26年	1,078	357	389	352	341	富山 8%
	27年	913	448	409	493	450	秋田 7%
	28年	856	404	382	402	443	
	5ヵ年平均	935	386	383	399	387	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	900	330	300	330	350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道を中心に、長野などの各産地から入荷する。愛知は夏場の長ねぎが中心。昨年に比べると生育状況は良好であるが、愛知では入荷量がやや減少する見通し。 入荷量は前年を上回るが平年よりやや少なく、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>							
し	24年	2,265	122	133	136	117	長野 97%
	25年	2,361	177	140	214	201	茨城 2%
	26年	2,122	291	319	303	269	愛知 1%
	27年	1,998	298	225	359	341	
	28年	2,085	232	248	223	236	
	5ヵ年平均	2,166	221	210	244	229	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	2,100	180	180	180	180	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>長野を中心に入荷する。長野は生育順調で産地での生産調整が入ったが、8月17日現在ではまた値下がりしている。今後の天候により入荷減の可能性もあるが、概ね順調な入荷が予想される。 入荷量は前年並で、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>							
きゅうり	24年	1,461	214	214	198	251	長野 35%
	25年	1,213	415	387	472	395	北海道 19%
	26年	1,245	380	471	339	341	山梨 18%
	27年	1,263	415	473	452	347	群馬 12%
	28年	1,381	351	335	329	404	
	5ヵ年平均	1,313	350	370	352	345	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	1,250	380	360	390	390	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>夏秋産地の長野や北海道、抑制産地の山梨や群馬が入荷の中心となる。8月の天候不順により北海道や東北、関東産地では作柄が悪く、9月の入荷は減少する見通し。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>							



東京都中央卸売市場

8月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	24年	4,712	332	306	326	367	青森 24%
	25年	5,189	349	373	346	329	秋田 18%
	26年	5,667	304	330	304	279	北海道 15%
	27年	5,162	435	400	482	426	山形 8%
	28年	4,788	423	379	410	482	茨城 7%
	5ヵ年平均	5,104	367	358	373	373	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	4,900	380	390	380	370	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>青森、秋田、北海道、茨城からの入荷が中心となる。各産地とも適度な降雨があり肥大は順調だが、低温・低日照等により生育の遅れ、病害虫の発生が懸念される。問題がなければ安定した入荷が見込まれる。入荷量は前年並で、価格は高値となった前年をかなり下回る見込み。</p>					
しそ	24年	9,554	116	120	123	104	長野 82%
	25年	9,564	179	137	213	191	群馬 11%
	26年	7,769	312	367	322	250	茨城 4%
	27年	8,192	315	236	389	334	岩手 1%
	28年	9,674	229	253	217	216	千葉 1%
	5ヵ年平均	8,951	224	216	246	214	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	9,400	220	210	210	240	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野を中心に、群馬などからの入荷となる。長野は8月の天候不順による生育停滞から回復し平年並の出荷量。終盤は長野が終了するとともに、茨城の増量ペースが遅く品薄感が出る見込み。入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
きゅうり	24年	8,515	174	170	149	221	福島 28%
	25年	7,028	379	352	422	366	群馬 12%
	26年	7,096	345	433	301	307	岩手 11%
	27年	6,876	374	435	388	313	埼玉 11%
	28年	7,626	314	287	297	369	茨城 9%
	5ヵ年平均	7,428	311	328	304	312	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	7,100	320	320	330	310	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>東北から関東産地への移行時期となる。東北は日照不足により生育が停滞、関東でも一部に生育の遅れがある。端境期に一時品薄感があるが終盤は関東各産地が出揃い一段落する見込み。入荷量は順調に入荷した前年をかなり下回り、価格は前年並となる見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

8月17日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	24年	935	208	192	207	237	愛知 31%
	25年	713	336	339	338	336	山梨 26%
	26年	777	337	414	356	259	徳島 17%
	27年	688	391	345	420	410	茨城 6%
	28年	734	321	292	321	371	
	5カ年平均	769	312	311	321	316	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	700	335	300	335	370	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>愛知、山梨、徳島などから入荷する。7月頃までは入荷が多かったが、その後の猛暑で入荷が伸び悩む。さらに8月の曇雨天により、9月入荷の減少も予想され、価格は上昇すると思われる。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							
ト マ ト	24年	1,472	364	290	421	413	岐阜 63%
	25年	1,455	411	401	411	429	北海道 14%
	26年	1,217	463	405	445	606	愛知 8%
	27年	1,290	477	467	499	466	茨城 5%
	28年	1,578	350	317	349	406	
	5カ年平均	1,402	409	372	421	458	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	1,450	400	400	400	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>岐阜を中心に北海道、愛知などから入荷する。7月中下旬の高温により花飛びが発生し、9月は品薄傾向となる見通し。しかし中旬以降の入荷は回復すると思われる。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>							
ミ ニ ト マ ト	24年	429	649	462	717	847	北海道 75%
	25年	379	846	738	969	844	長野 8%
	26年	375	936	857	913	1,097	茨城 7%
	27年	439	1,026	899	1,168	1,008	愛知 6%
	28年	463	700	616	659	868	
	5カ年平均	417	827	709	880	930	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	420	830	700	850	940	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道を中心に長野、茨城、愛知から入荷する。曇雨天と低温により樹勢の低下と果実の着色遅れが見られ、9月の入荷量はやや落ち込むと思われる。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回るが平年並で、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

8月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	24年	4,553	208	186	207	245	栃木 30%
	25年	5,478	207	314	362	385	群馬 28%
	26年	3,913	360	393	378	303	茨城 19%
	27年	3,280	411	400	418	417	埼玉 5%
	28年	3,860	367	328	330	498	高知 5%
	5ヵ年平均	4,217	297	317	334	365	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	3,800	360	370	370	340	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>栃木、群馬、茨城など関東産地からの入荷が中心となる。各産地とも天候回復に伴い低下していた数量、品質の回復が見込まれるが、入荷量は平年より少ない見込み。下旬からは高知産も出荷が本格化する。入荷量、価格ともに前年並の見込み。</p>					
ト マ ト	24年	8,898	328	253	387	359	福島 18%
	25年	8,062	380	385	359	402	千葉 17%
	26年	6,718	434	374	406	568	青森 14%
	27年	6,680	449	480	426	443	北海道 14%
	28年	8,556	329	294	321	387	茨城 11%
	5ヵ年平均	7,783	378	349	377	425	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	7,900	380	400	370	370	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>福島、千葉、青森、北海道からの入荷が中心となる。8月の低日照による花飛び、着色遅れの影響が出始める。上旬は品薄感があるが、中旬以降は各産地出揃い入荷量は回復する見込み。入荷量は平年を上回るも前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	24年	1,495	634	462	670	784	北海道 28%
	25年	1,617	755	710	813	737	茨城 26%
	26年	1,664	856	793	830	960	青森 10%
	27年	1,674	930	847	1,002	942	千葉 9%
	28年	2,016	629	545	606	773	福島 7%
	5ヵ年平均	1,693	758	670	779	838	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	1,800	620	610	620	630	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、茨城、青森からの入荷が中心となる。生育は概ね順調に進んでおり、潤沢な出荷が続く。例年、数量減となる9月後半も安定すると見込まれる。入荷量は平年を上回るも前年をかなり下回り、価格は後半の入荷減が例年より小幅と予想されることから前年並の見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

8月17日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	24年	475	218	274	259	234	岩手 37%
	25年	373	452	470	505	481	北海道 36%
	26年	419	455	585	450	367	茨城 16%
	27年	379	518	499	601	534	長野 7%
	28年	428	380	375	426	434	
	5ヵ年平均	415	396	434	439	401	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	390	410	410	410	410	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>岩手、北海道、茨城が入荷の中心となる。天候不順と低温の影響で、9月入荷量は例年より減少すると見られる。9月を通して産地からの入荷が安定しない見通し。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
ばれいしょ	24年	2,347	71	83	74	67	北海道 92%
	25年	2,395	138	143	149	127	青森 7%
	26年	2,906	104	122	110	88	
	27年	3,214	112	119	116	107	
	28年	2,783	163	155	183	156	
	5ヵ年平均	2,729	118	125	127	110	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	3,000	110	115	110	105	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道を中心に、青森の残量が入荷する。北海道は生育順調で、小玉傾向であるものの潤沢な入荷が見込まれる。青森の残量は9月上旬頃には終了する見通し。入荷量は前年をかなり上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
たまねぎ	24年	4,879	86	104	91	80	北海道 99%
	25年	4,073	106	109	110	108	中国 1%
	26年	4,951	100	126	102	88	
	27年	5,986	89	104	92	81	
	28年	6,574	112	152	127	96	
	5ヵ年平均	5,293	99	121	105	90	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	5,600	90	100	90	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道が入荷の中心となる。北海道の作柄は非常に良好で、9月も引き続き順調な入荷が見込まれる。11月上旬頃まではかなりの量が出回る見通し。入荷量は前年をかなり下回るが平年より多く、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					



東京都中央卸売市場

8月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	24年	2,421	157	169	153	150	茨城 43%
	25年	2,076	403	387	437	385	岩手 38%
	26年	1,977	425	616	381	302	福島 9%
	27年	1,878	484	443	556	452	青森 7%
	28年	2,294	309	276	317	340	高知 1%
	5ヵ年平均	2,129	345	366	357	318	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	2,200	420	430	430	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城を中心に、岩手、福島、青森からの入荷となる。茨城産は天候不順から回復し順調な出荷となる。東北各産地は終盤を迎えるが、下旬には茨城産の秋作の出荷が始まり価格は下がると見込まれる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
白菜	24年	7,401	85	88	85	81	北海道 96%
	25年	8,105	141	142	144	138	青森 3%
	26年	8,112	118	127	119	104	
	27年	8,286	119	120	120	118	
	28年	7,410	171	169	180	163	
	5ヵ年平均	7,863	127	129	129	121	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	7,900	117	120	120	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷がほとんどを占める。前年は台風被害で出荷量が激減したが、本年は生育も概ね順調で平年並の出荷が見込まれる。産地の天候も良く収穫作業も順調に進んでいる。 入荷量は前年を上回り、価格は品薄で高値となった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
たまねぎ	24年	10,558	98	108	96	87	北海道 90%
	25年	11,075	113	113	113	113	中国 9%
	26年	11,293	110	126	106	92	兵庫 1%
	27年	11,897	95	102	94	86	
	28年	11,133	126	143	126	105	
	5ヵ年平均	11,191	108	118	107	97	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	12,000	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷が中心となる。生育は順調で玉伸びがよくL中心となる。豊作傾向だった昨年を上回る出荷量が見込まれており、価格への影響が懸念される。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年、平年ともに大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

8月17日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	24年	10,639	349	360	365	333	長野 29%
	25年	10,092	338	345	344	331	青森 12%
	26年	11,361	346	355	357	333	フィリピン 10%
	27年	9,964	371	406	350	365	三重 8%
	28年	9,377	381	370	387	386	
	5ヵ年平均	10,287	356	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	9,600	360	—	—	—	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>長野、青森、フィリピンなどから入荷する。全般的に小玉傾向で、入荷は前年よりもやや遅い。前年に対する入荷量は品目により増減があるが、価格は一部を除いて前年並からやや減となる品目が多い。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>						
みかん	24年	1,201	316	535	355	253	三重 53%
	25年	1,173	304	451	339	242	熊本 17%
	26年	1,235	300	483	317	242	宮崎 14%
	27年	1,331	289	501	286	250	愛知 7%
	28年	1,348	316	483	321	282	
	5ヵ年平均	1,258	305	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	1,200	300	0	0	0	
みかん	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>三重を中心に、熊本、宮崎、愛知などから入荷する。ハウスみかんは9月中旬頃に終了予定。極早生みかんは、高温傾向だった過去2年に比べてやや遅れており、平年並の入荷時期となる見通し。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>						
なし	24年	2,351	319	318	326	312	長野 71%
	25年	1,886	292	282	291	309	新潟 8%
	26年	2,494	284	302	283	271	愛知 7%
	27年	1,860	306	321	286	319	秋田 5%
	28年	1,911	291	275	288	327	
	5ヵ年平均	2,101	298	300	295	306	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	1,900	300	0	0	0	
なし	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>長野を中心に新潟、愛知、秋田などから入荷する。7月から入荷遅れが見られたが、9月入荷分も曇雨天の影響などで入荷時期が遅れる予想。また、果実は小玉傾向が見られる。入荷量は前年並だが平年より少なく、価格は前年をやや上回る見込み。</p>						

注：平成28年の4月～5月、29年の2月～5月は入荷なしにつき単価を0円/kgで表記

東京都中央卸売市場

8月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	24年	36,934	339	357	350	311	青森 12%
	25年	38,094	321	328	323	311	長野 10%
	26年	40,502	331	352	336	307	福島 8%
	27年	37,450	349	373	345	331	栃木 8%
	28年	36,650	367	368	368	367	茨城 7%
	5カ年平均	37,926	341	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	36,600	350	—	—	—	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	なし、りんご、みかんなどが入荷する。多くの品目で入荷減の単価高で推移したが、天候不順により益明け以降の販売は苦戦。秋果実は関東以北は天候不順で出荷量が伸び悩む品目も多いが、天候回復に伴い増加する見込み。入荷量は前年並で、価格は高かった前年をやや下回る見込み。						
みかん	24年	3,497	276	529	283	210	宮崎 34%
	25年	3,286	280	539	282	232	熊本 19%
	26年	3,479	263	587	275	215	佐賀 19%
	27年	3,228	269	465	264	229	愛媛 8%
	28年	3,390	292	498	286	253	福岡 6%
	5カ年平均	3,376	276	524	278	228	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	3,400	280	500	260	250	
みかん	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	上旬から九州産の極早生みかんの入荷が始まり、ハウスものは中旬から切り上がり始める。宮崎は栽培面積の減少により極早生の出荷量は前年を下回る見込み。熊本は干ばつ気味で推移しており、糖度は高いが酸度も高い。入荷量は前年並となり、価格は高かった前年をやや下回る見込み。						
なし	24年	10,206	309	327	327	270	栃木 27%
	25年	10,968	240	236	241	241	福島 26%
	26年	11,576	252	287	243	223	茨城 17%
	27年	10,318	247	270	233	233	千葉 14%
	28年	10,388	262	254	264	270	長野 5%
	5カ年平均	10,691	261	274	261	247	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	10,400	260	270	260	250	
なし	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	栃木、福島、茨城などから「豊水」・「幸水」を中心に入荷する。「豊水」は栃木で大玉だった前年より小ぶりの28玉中心となるが、出荷量は前年を上回る見込み。「幸水」は福島で前年並の作柄で9月中旬の切り上がりを見込む。入荷量、価格ともに前年並となる見込み。		注：平成28年4月、平成29年5月は入荷無しにつき単価は0円/kgで表記				

# 切花・鉢花の9月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 8月31日現在）

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	24年	2,046	57	
		25年	2,032	58	
		26年	2,238	55	
		27年	2,100	58	
		28年	2,302	52	
	5ヶ年平均	2,144	56		
	29年見通し	2,200	55		
概要	<p>愛知、長野、三重などから入荷する。盆時期は暑さで遅れが目立った。暑さが落ち着いてからは、場所によりやや前進傾向も見受けられるが、概ね順調。月中には彼岸需要もあり、動きも活発化してくる。</p>				
小 ぎ	実績	24年	2,198	35	
		25年	2,421	31	
		26年	2,203	35	
		27年	2,100	40	
		28年	1,847	33	
	5ヶ年平均	2,154	35		
	29年見通し	2,000	35		
概要	<p>愛知、長野、岩手、埼玉、奈良から入荷する。産地によっては、天候不順の影響で生育にばらつきが出ている。前半は値動きがやや重い場面もあるが、中旬以降は彼岸需要もあり、堅調になるとと思われる。</p>				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	24年	1,186	37	
		25年	1,272	45	
		26年	1,224	50	
		27年	1,250	50	
		28年	1,240	41	
	5ヶ年平均	1,234	45		
	29年見通し	1,200	45		
概要	<p>長野、北海道を中心に入荷する。今年は生育もよく前進していたことと、8月の日照不足による輪飛びなどで特にスプレーの秀品率が低くなることから、例年に比べやや品薄と思われる。</p>				
か す み	実績	24年	102	87	
		25年	99	152	
		26年	98	168	
		27年	100	150	
		28年	144	84	
	5ヶ年平均	109	124		
	29年見通し	120	120		
概要	<p>長野、福島からの入荷となる。業務(ブライダル)の販売が強くなることに加えて、彼岸や敬老など一般需要もある。昨年同様に少なめの入荷となる見込みで、相場は堅調。</p>				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆ り	実績	24年	400	144	
		25年	390	178	
		26年	367	191	
		27年	380	180	
		28年	375	152	
	5ヶ年平均		382	169	
	29年見通し		390	150	
概要	<p>オリエンタルは新潟、北海道、岐阜、埼玉からの入荷。8月入荷が遅れている分、9月は前年以上の入荷となる。LAは埼玉、新潟からの入荷。前年並の入荷が見込まれる。鉄砲は愛媛、兵庫からの入荷。盆はやや遅れがあったが、彼岸は間に合いそう。生産は減少しており、輸入が不可欠。彼岸の販売は9/15からで、全体の引き合いは強い。</p>				
洋 ら ん	実績	24年	565	61	
		25年	540	74	
		26年	584	75	
		27年	560	70	
		28年	524	68	
	5ヶ年平均		555	70	
	29年見通し		530	75	
概要	<p>愛知、鹿児島、静岡などの国内や海外から入荷する。今夏の日照不足の影響を受ける品があると思われる。特にカトレアはその影響が大きく、上旬までは例年の3分の1程度になる見込み。</p>				
ば ら	実績	24年	887	64	
		25年	893	78	
		26年	831	75	
		27年	860	50	
		28年	754	73	
	5ヶ年平均		845	68	
	29年見通し		800	70	
概要	<p>愛知、三重、岐阜、和歌山、長野、山形などから入荷する。夏のダメージは中旬以降から徐々に回復に向かい、品質も上がってくる見込み。敬老の日などの需要も見込まれ、堅調な販売が予想される。</p>				
枝 も の	実績	24年	1,608	41	
		25年	1,663	46	
		26年	1,595	47	
		27年	1,700	45	
		28年	1,515	48	
	5ヶ年平均		1,616	45	
	29年見通し		1,500	45	
概要	<p>8月の台風や長雨により作柄は良くなく、入荷はやや少なめ。栽培物は柳類が中心で、後半は彼岸や十五夜もあるが、軟調傾向。山取りは人気もあり、堅調となる見込み。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラセナ	実績	24年	29,097	730	
		25年	28,128	722	
		26年	24,095	773	
		27年	19,560	798	
		28年	21,815	784	
	5ヶ年平均		24,539	757	
	29年見通し		21,000	786	
概要	<p>入荷量は前年より減少か。愛知県産が中心であり、原木の減少の影響で入荷量は減ると思われる。サイズは4～7号が中心で、大鉢は少ないと思われる。 前年9月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(60.5%)、2位沖縄(10.6%)、3位鹿児島(9.3%)となっている。</p>				
オンシジウム	実績	24年	5,965	734	
		25年	6,775	652	
		26年	5,512	638	
		27年	4,321	659	
		28年	4,307	613	
	5ヶ年平均		5,376	662	
	29年見通し		4,500	622	
概要	<p>入荷量は前年より増加か。全体的に作付けが微増していることも一因である。時期的に入荷が増えるタイミングのため、早めの提案や販売へのご協力をお願いしたい。 前年9月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(67.4%)、2位高知(12.6%)、3位長崎(10.5%)となっている。</p>				
アンズ	実績	24年	12,576	759	
		25年	13,345	748	
		26年	10,808	750	
		27年	5,978	775	
		28年	6,806	688	
	5ヶ年平均		9,903	746	
	29年見通し		6,600	682	
概要	<p>入荷量は前年より減少か。作付け量に大きな変更はないが8月下旬までの前倒し出荷が多く、9月の入荷量が減少する見込み。6号サイズが入荷の主体で、色別では赤・ピンクが中心と思われる。前年9月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(97.3%)、2位その他(2.0%)、3位三重(0.4%)となっている。</p>				



単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シヤコバ	実績	24年	39,762	390	
		25年	49,141	375	
		26年	38,620	396	
		27年	29,935	424	
		28年	29,303	438	
	5ヶ年平均	37,352	400		
	29年見通し	28,000	429		
概要	<p>入荷量は前年より減少か。ここ数年、生産量が減少傾向の中、8月の盆明けから入荷が始まり、9月から本格的な入荷となる。価格面では5号サイズが注文の中心となり、前半は安定する見込み。6号鉢以上の高単価の商品は年々販売が厳しくなっており、平均単価では前年を下回る見込み。前年9月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位埼玉（53.7%）、2位愛知（44.0%）、3位栃木（2.0%）となっている。</p>				
シクラメン	実績	24年	85,883	140	
		25年	148,054	149	
		26年	149,159	147	
		27年	160,315	148	
		28年	169,833	143	
	5ヶ年平均	142,649	146		
	29年見通し	170,000	141		
概要	<p>入荷量は前年並か。例年9月は入荷の大半を3号ガーデンシクラメンが占める。価格面では残暑が残る上旬は厳しいと予想されるが、下旬にかけて徐々に安定する見込み。4号以上のシクラメンは上旬から徐々に増えてくる。前年9月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位長野（66.7%）、2位愛知（24.2%）、3位兵庫（3.7%）となっている。</p>				
カラコエ	実績	24年	66,622	180	
		25年	67,390	186	
		26年	64,023	193	
		27年	53,038	195	
		28年	60,907	188	
	5ヶ年平均	62,396	188		
	29年見通し	60,000	190		
概要	<p>入荷量は前年並か。盆明けより少しずつ出荷が始まり、敬老の日に向けて増える関東の3.5号もほぼ前年並の予想。販売の中心である4～6号鉢についても大幅な生産減はないが、夏からの厳しい市況のためか若干出荷量が調整され、やや減少する見込み。前年9月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位埼玉（59.2%）、2位岐阜（25.9%）、3位茨城（11.0%）となっている。</p>				



## いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.531  
平成29年9月発行  
農林水産部食育消費流通課  
〒460-8501  
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 (052) 954-6434